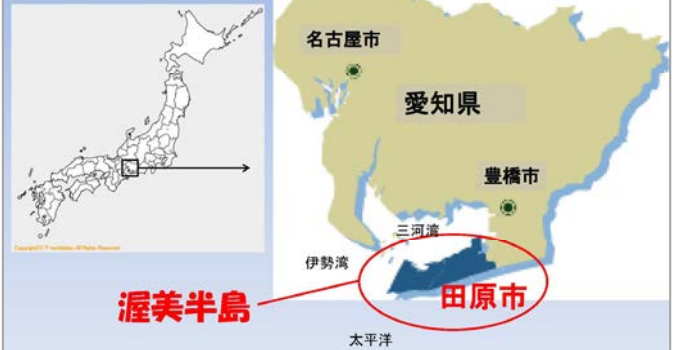


平成27年度 水産多面的機能発揮対策 事例報告会
渥美半島地域漁業環境保全会



1. 地域の漁業の概要

(1) 地域の概要

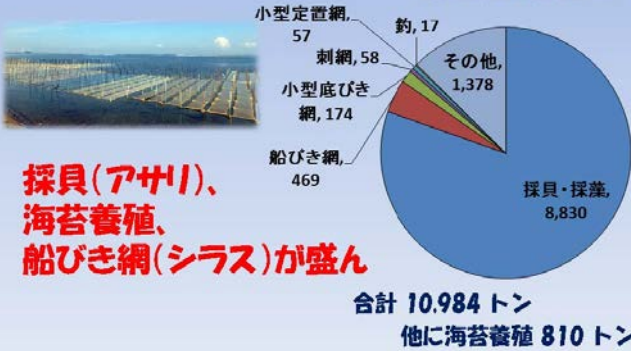


田原市は、愛知県の南端に位置し、三河湾、太平洋、伊勢湾に囲まれた渥美半島のほぼ全域が市域となっている。

1. 地域の漁業の概要

(2) 地域の漁業の概要

* 田原市の漁業種類別の漁獲量 (単位:トン)
資料:海面漁業生産統計調査(H25)



採貝(アサリ)、海苔養殖、船びき網(シラス)が盛ん

田原市の漁業は、干潟の広がる三河湾側では、アサリ漁業や海苔養殖が、太平洋に面した外海側では、シラスを獲る船びき網漁業が行われている。

1. 地域の漁業の概要

(3) 地域のPR

◆アサリ

・漁獲量が日本一の愛知県内 **第2位**
 ・渥美のアサリは肉厚で、身入りが良く、**大粒で味が良い**



愛知県は平成 16 年から 10 年連続日本一で、全国シェアのおよそ 7 割を占めており、田原市のアサリ漁獲量は県内第 2 位となっている。

1. 地域の漁業の概要

(3) 地域のPR

◆海苔

・香りが高く、やわらかで口解けが良い
 田原市で採れる海苔は、**深い味わいに育つ**



愛知の海苔養殖は、江戸末期に始まった。青海苔と黒海苔の「混ぜ海苔」は希少価値が高く、最近ではトゲサのバラ干しを新・特産品として PR している。

1. 地域の漁業の概要

(3) 地域のPR

◆シラス

・毎年4月から12月中旬までシラス漁が
行なわれます



田原市では、生シラスや釜揚げシラス・素干しシラスなど、いろいろなシラスの味を楽しむことができる。

2. 地域の現状・課題

(1) 地域の現状・課題

豊かな海岸に恵まれているものの

- ・貧酸素水塊が拡大
- ・干潟や海底の地盤が固くなった
- ・ゴミの漂着
- ・有害生物(ツメタガイ、エイ)の増加



近年、三河湾で発生する貧酸素水塊の拡大や、干潟や海底の地盤の変化により漁場の環境が悪化、海岸に漂着するゴミや有害生物の増加もみられる。

2. 地域の現状・課題

(2) 活動組織設立に至る経緯

保全活動を独自に実施してきたが・・・

- ・費用がかかる
- ・高齢化



十分な活動ができない

水産多面的機能発揮対策事業
による支援で、保全活動を充実させる



このため、以前から独自に保全活動を実施していたが、費用や漁業者の高齢化等により十分な活動ができなかった。

3. 活動組織の概要

(1) 発足年月日

渥美半島地域漁業環境保全会の設立

平成25年6月7日



そこで当事業等を活用し、田原市内にある4つの漁業協同組合が主体となり、当活動組織が設立、保全活動を本格化させた。

3. 活動組織の概要

(2) 構成員

- 愛知外海漁業協同組合：組合員 (534名)、職員 (3名)
- 渥美漁業協同組合：組合員 (1,689名)、職員 (5名)
- 中山漁業協同組合：組合員 (277名)、職員 (1名)
- 小中山漁業協同組合：組合員 (654名)、職員 (3名)



構成員は、愛知外海漁協、渥美漁協、中山漁協、小中山漁協の組合員と組合職員で、ほぼ全ての漁業者が構成員となっている。

3. 活動組織の概要

(3) 活動位置図・活動面積等



活動位置は、渥美半島の海岸に沿った干潟全域とし、活動面積は793haと広範囲である。

4. 活動の目標と計画

(1) 目標

渥美半島沿岸の干潟における
地域資源の維持・回復



活動の目標は、渥美半島沿岸の干潟における、アサリをはじめとする、地域資源の維持・回復を図ること。

6. 今後の課題・計画

(1) 今後の課題



清掃により干潟がきれいになり、固かった地面が柔らかくなり、稚貝の着底がみられるようになった地域があるが、活動の継続が必要。



ご静聴ありがとうございました

6. 今後の課題・計画

(2) 今後の計画や抱負

**今後も保全活動を続けながら
渥美半島の水産物(アサリ、海苔、シラス)
の認知度を高めていきたい。**



今後も市民等の参加を促しつつ、保全活動を続けていく。また、地域資源を効果的に活用しながら、水産業の再生、地域の活性化につなげていきたい。